

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第391号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2019年10月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

**東海大学附属推薦入試適性審査による合格者16名**

**ダンス部 USA新人大会 優勝!!**

TOP\*NEWS

**学園オリンピック(スポーツ大会) 男子総合準優勝!**

**バドミントン部 男・女団体優勝!**

**卓球部 男子団体優勝!**



適性審査に合格した特別奨励推薦候補者の皆さん



学園オリンピック夏季セミナー入賞者の皆さん



学園オリンピック(スポーツ大会)  
バドミントン部 男・女団体優勝!



学園オリンピック(スポーツ大会)  
卓球部 男子団体優勝!

# 希望を星につなげ!

## 「2020年度 東海大学付属推薦入試適性審査」の結果、16名が推薦候補者に決定

東海大学の付属推薦入試について、6月15日(土)に教養学部芸術学科、6月22日(土)に医学部医学科と医学部看護学科、さらに7月28日(日)および8月25日(日)に工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻の適性審査がそれぞれ実施され、16名の生徒が合格し、推薦候補者に決定しました。それぞれの生徒は、1、2年生のうちからしっかりと適性審査に向けて準備をして、厳しい面接試験や実技試験を突破して合格を勝ち取りました。おめでとうございます。

現在、高校1、2年生で適性審査のある学部・学科を希望する皆さんは、早期からの準備を心掛けてください。

### 東海大学適性審査合格者

学部・学科名	人数*
工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻	1
医学部医学科	5
医学部看護学科	5
教養学部 芸術学科 音楽学課程	1
教養学部 芸術学科 美術学課程	4
教養学部 芸術学科 デザイン学課程	3

※1人で複数の適性審査に合格した者を含む

### 東海大学適性審査による合格者氏名(クラス順)

林 久瑠実	浅田 菜月	生方 真朝
小曲 茉莉	渡邊 夏希	秋澤 雄生*
道岡 佑太	大橋 瞳子*	上嶋 陽*
木村 飛洋*	鈴木ひなの	山崎 秋桜*
上西 遥輝	白川 蒼斗*	田中 寿英*
松下 啓樹*		

\*の付いた生徒は特別奨励候補者

## 2019年度 夏休み部・同好会結果

### USA Japan チアリーディング&ダンス 学生新人大会 優勝! ダンス部



#### 全員の方で 2年2組 西田 夢乃

ダンス部2年生は、8月17日に行われたUSA新人大会に出場し、優勝することができました。今回の大会では初めて学年全員で出場したので、大会練習をしていく中で思うようにいかないことも多かったです。何度も話し合いを行い、1人ひとりがさまざまな悩みや不安と向き合いながら練習を乗り越えてきました。そのため、表彰式で「Hop Booty jr.」と呼ばれた時は、嬉しさや安心した気持ちでいっぱいになり、今まで頑張ってきたことが心から思いました。また、この結果を残すことができたのは、いつも近くで支えてくださった顧問の先生や家族、ダンスの指導をしてくださったコーチ、練習のサポートや温かい声援をくださった先輩、後輩のおかげです。本当にありがとうございました。これからもたくさんの方々に支えられていることを忘れずに、感謝の気持ちを持ち、さらに上を目指し強くなれるように努力していきたいと思えます。今後も応援をよろしくお願いたします。

#### 吹奏楽部(中等部)

東京都中学校吹奏楽コンクール 銀賞

#### 吹奏楽部(高校)

東京都高等学校吹奏楽コンクール大会 A組、B組 金賞  
C組 金賞 優秀賞  
全日本マーチングコンテスト東京都大会 金賞

#### ダンス部(高校)

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2019 ヒップホップ男女混成部門 ミディアム編成 優勝  
USA Japan チアリーディング&ダンス 学生新人大会2019 高校編成 Hip Hop部門 優勝

#### 卓球部(高校)

東京都高等学校体育連盟主催地区別卓球大会 城南地区 Aチーム 優勝  
Bチーム 第3位  
東京私立中学高等学校卓球選手権大会 高校男子ダブルス 山本貴将・馬場好基ペア 第3位  
港区卓球新人優勝大会 ジュニア男子 佐野蒼志郎 第1位  
櫻本岳晃 第2位  
内貴捷人、吉田斗南 第3位  
ジュニア女子 椎名萌 第1位

#### 陸上競技部(高校)

東京私立中学高校 陸上競技選手権大会 男子高校5000m 小泉陸 第3位  
鈴木拓真 第6位

#### ソフトテニス部(高校)

城南地区大会 大木彩未・船津小麦ペア 第5位  
安藤雅菜・田邊くるみペア 第5位  
加藤結愛・西田梨花ペア 第5位

#### 女子バスケットボール部(高校)

東京都女子バスケットボール夏季大会 Eブロック 第2位

#### バドミントン部(高校)

北区春季バドミントン高校生オープン大会 男子1部 Aチーム 準優勝  
男子3部 Bチーム 優勝  
東京都バドミントン選手権大会 男子ダブルス 清水大裕・武井悠ペア 優勝  
女子ダブルス 高橋琴美・河原優希ペア 第3位

#### 軽音楽部(高校)

高校生ライブMUSIC DAYS 2019 東京大会 優秀賞 オーディエンス賞 バンド部門 "BLAZE"  
東京都高等学校軽音楽コンテスト準決勝大会 入選 "ブルー・スター、お前もか" / "Look" / "BLAZE" / "Mercury"

## 2019年度 東海大学学園オリンピック

## 文化部門

日時：7月31日(水)～8月5日(月) 場所：東海大学儒恋高原研修センター

※芸術【音楽】部門 日時：5月17日(金)～5月19日(日) 場所：湘南キャンパス 松前記念館 講堂

### 部門別 受賞者

国語部門 (第25回)	佳作 石橋 あつか	2年10組	芸術【造形】部門 (第28回)	優秀賞 秋澤 雄生	3年8組
				奨励賞 前田 美里亜	3年2組
数学部門 (第29回)	努力賞 中村 水音	3年6組	芸術【音楽】部門 (第28回)	銅賞 小川 玲	中等部 3年A組
理科部門 (第26回)	優秀賞 小島 高史	中等部 3年A組	ディベート部門 (第14回)	奨励賞 望月 理沙	3年1組
	努力賞 阿島 里穂	2年10組			

### ☆優秀賞☆を受賞した皆さんの喜びの声を紹介します

#### みんなに感謝! 理科大好き!

理科部門  
中等部3年A組 小島 高史

中1から続けてきたミドリムシの研究で一次審査を突破し、今回が夢にまで見た初の学オリでした。夏季セミナーでは、全国から集まった理科好きな仲間たちとさまざまな議論ができ、とても濃密な6日間を過ごすことができました。普段は体験できないような貴重な実験やタムの見学など貴重な経験もできました。私はこの6日間で、中学生、高校生、先生方などさまざまな世代の方と色々な話をしたり、情報交換することができ、「学問はつながっている」と改めて実感できました。今回、初参加にも関わらず、賞をいただくことができ、改めて応援してくださった方々、実験で使ったミドリムシ、儒恋で出会えた最高の仲間たちに感謝し、その気持ちを忘れずに来年に向けて研究を続けたいです。

#### 学園オリンピックへ行こう!

芸術(造形)部門  
3年8組 秋澤 雄生

こんなに楽しくて、勉強になって、充実して、刺激的な6日間があるのか。そう、これが学オリだ。大きな紙やセロハンなどをわたされ、「ゆかいなもの」を作ってみようと言われた時は少々驚いたが、出来上がったそれをかぶり、自然の中でコマ送りの映像をグループ制作したことは忘れられない。男子5人は、部屋も食事も一緒。風呂でのたわいもない話、とにかく笑った。真剣に将来の夢も語り合った。こんな素晴らしい仲間との出会いもある。そして小学校から大学までの先生方から熱いご指導をいただいたこと、また一次審査の作品を見て「圧倒的だった」とご講評いただいたこと、美術への思いが自分の中で強くなることを感じた。学オリは僕の夢への第一歩になった。

## 2019年度 東海大学学園オリンピック

## スポーツ大会

日時：8月6日(火)～8日(木) 場所：東海大学湘南キャンパス 他

種目	順位	種目	順位	氏名
サッカー	2位	剣道 女子団体	3位	
バドミントン 男子団体	優勝	柔道 男子団体	2位	
女子団体	優勝	女子個人(57・63kg級)	2位	2年 木戸 夕葵
卓球 男子団体	優勝	女子個人(57・63kg級)	3位	1年 工藤 美らさ

### アベック優勝への挑戦

#### バドミントン部

2年7組 岡本 柊太(部長) 3年7組 吉川 慧(元部長)

来年は東京オリンピック開催のため、学園オリンピックは開催されないということで、私たち2、3年生にとって最後の大会でした。令和初となる今年の大会は、男子は昨年に続き優勝、女子は初優勝を果たすことができました。今回は、男子は初の連覇を、女子は初優勝のアベック優勝を目指していたので、高輪台バドミントン部として最高の結果で終わることができ、よかったです。また、付属高輪台高校男子は総合で2位となり、その結果に貢献できたことを嬉しく思います。そして、チームメイトやたくさんの卒業生、保護者の方が秦野まで応援に来てくださり、高輪台のチーム力にも気づくことができました。大切な仲間とバドミントンを全うできるのは、顧問の先生方や先輩方のご指導と支えてくれた仲間や家族があったからです。たくさんの方の応援をありがとうございました。

### 4年ぶり4度目の優勝

#### 卓球部

3年5組 馬場 好基(部長)

私たち卓球部は毎年、学園オリンピックで団体戦優勝を目標の一つとして日々練習に励んでいました。しかし、毎年、菅生高校に決勝戦で負けてしまっただけという結果で終わっていました。私も、1年、2年の時に学園オリンピックに参加し、同じように菅生高校に負けてしまい、とても悔しい思いをしてきました。そのため今年こそは「絶対優勝」という強い気持ちで臨みました。結果は4年ぶり4度目の団体戦優勝を果たすことができました。今回の優勝で、私は家族やOBの方々、先生方の応援が私たち自身のパワーになったことをいつも以上に感じることができました。もしも応援がなかったら気持ちで負けてしまい、優勝することができなかったと思います。そこで、私たちはこの応援の力というものを後輩たちにつないでいき、学園オリンピックで団体戦連覇を目指してほしいと思っています。

## 2019年度学校運営方針

今月も「2019年度学校運営方針」の実践目標について紹介します。学校の基本方針と取り組みを生徒・保護者の皆さんにご理解いただきたいと思います。また、授業や学校行事、部活動の様子を本校HPに紹介していますのでご覧ください。

### 1. 実践目標

- 「初等中等教育機関改革実行プラン」のPDCAの循環を定着させる
- 理系・文系に偏ることなく、基礎学力の定着を図る
- 「教科の学習」だけでなく、「教科外活動」を積極的に取り組ませることによって、より豊かな人間性を育てる
- 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、自立心を育てる環境を整える
- 情報化時代に即応し、自らが情報発信基地になれるよう、教職員・生徒の情報教育の推進を図る
- あらゆる行事を通して、豊かな情操を培い、素晴らしい人間関係をつくりあげる

新規・継続に関わらず、どのような取り組みにおいてもPDCAサイクルは重要となります。Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)。何事も無計画に実行に移すことは効率的ではなく、また、反省なきところに成長は見られません。学習面だけでなく部活動や行事、プライベートでもPDCAサイクルを意識して行動してみてください。

現高校2年生から大学入試改革が実施されます。入試のために勉強をしているわけではありませんが、学力は人として必要です。新課程や入試改革からもわかるように、探究活動など理系・文系の隔たりがなくなり、「知識・理解」力から「思考・創造」力が求められる時代です。毎日の授業はもちろんですが、教科以外の時間でも学ぶことはたくさんあります。規則正しい生活、規律を守り、時間を無駄にせず生きる力を身につけてください。



校外学習(中等部3年)



高校現代文明論(高校1年)



カナダ研修旅行(高校2年)

## ❖ アブダビ日本人学校の生徒一行が来校 ❖

8月27日(火)、UAE(アラブ首長国連邦)のアブダビ日本人学校から、小学6年生のOmar君とご両親が本校を訪れました。校長室での本校の学校紹介の時間では、最初は少し緊張気味でしたが、徐々に打ち解け、片桐校長先生と和やかに、そして楽しげにしっかりと日本語で話をしていました。その後、柔道部などこの日活動していた部活動や和室、調理実習室、実験室など校舎見学を行いました。また、眞崎先生によるアクティブボードを使ったデモンストレーションも見学しました。最後に、現在本校の高校1年、高校2年に在学しているアブダビ日本人学校の先輩たちと話をし、日本の生活や本校での生活について生の声を聞きました。Omar君だけでなく、ご両親もたくさん質問をして、有意義な時間を過ごされたようです。4年後、成長したOmar君に会えるのを楽しみにしています。



## SSH活動報告

### 台湾の高校生との共同研究がスタート(7月26日~29日/台湾)



2年10組 白石 真輝  
私は共同研究にあたって台湾に行ってきた。日本ではない環境にいる高校生の姿を知ることができるとも良い機会だった。最も印象に残っているのは勉強に向かう姿勢が違うことだ。それは文化的、経済的、環境の違いによるものかもしれないが、最終的には私も彼らと同じ「社会」で競うことになる。そのときに自分ほどのような価値を発信することができるのか、考えさせられた。また、早稲田大学本庄高等学院や清真学園高等学校の人たちとよく話をしたのだが、同じ日本の同じ学年だとは思えないほど英語がペラペラで驚いた。彼らに共通していることは、勉強は自分のためだと思っていること、やらされているという受け身の態度ではないことである。今回の台湾共同研究を通して、どんな物事に対しても受け身の姿勢ではなく「自発的」に取り組むことが大切であり、その意識こそが自分の成長につながると感じた。この貴重な経験を今後も深め、研究に生かしたいと思う。

### 海外の高校生との国際共同プロジェクトなどを体験(8月6日~9日/静岡市)



3年10組 上嶋 陽  
私は静岡北高等学校が開催した「21世紀の中高校生による国際科学技術フォーラム(Shizuoka Kita Youth Science Engineering Forum, 通称SKYSEF)」に参加しました。日本国内のSSH指定校やタイ、USA、イタリアなどの学校から生徒が来て、研究発表や国際共同プロジェクトなどを行いました。国際共同プロジェクトでは混成チームに分かれて、与えられたテーマに沿って実験や創作活動などを行いました。私のチームは「デンプンに対する唾液の働き」というテーマで実験を行いました。実験の目的から方法・結果などが英語で説明されるため、専門用語を理解しつつ作業を進めていくことがとても大変でした。今回のSKYSEFに参加して、改めて自分の英語力が劣っていることを痛感しました。この滅多にない経験を活かして、英語力を身につけるための勉学に励みたいと思います。

### 全国のSSH指定校生徒が一堂に会する生徒研究発表会に参加(8月7日~8日/神戸市)



3年10組 福田 貞子  
日本全国から218校、海外から23校が集まったこの発表会は、さまざまな考え方・意見が交錯するとともに規模の大きいものでした。私たちは数学、物理、生物、地学などのさまざまな分野の中から化学を選択して発表を行いました。実は化学はいちばん発表件数も多く、先生や生徒が何人も私たちのポスターの前に並び、何時間も発表することになりました。何時間も発表し続けるのはとてもつらかったのですが、ここに集まった人々は自分たちなりに科学的思考をし、その考えを伝え合うことによってお互いを高め合えるような関係にあったと思います。私はこのような場に行くことができて嬉しく思いました。また、ここにいる人々に負けないような実験をしていきたいとも思いました。来年度の生徒研究発表会での発表者に選ばれた人には、ぜひこの場の空気を体感して研究意欲を高めてもらいたいと思います。

### 探究活動の成果をポスターにまとめて発表(8月24日/長野県千曲市)



3年4組 石塚 千夏  
私たちは、長野県屋代高等学校の「課題探究・課題研究中間発表会」に参加してきました。外部へ発表に行く経験がなかったため緊張していましたが、温かく迎え入れていただきとてもやりやすかったです。ポスターセッションでは、呼び込みをしなくても聞きたいと言って来てくれる方が多くて発表しやすかったです。想定外の質問も多くて、発表していく中で新しい発見を見つけることもできました。他校の発表を聞いた中には、美文字になるためにはどうすればよいかという研究で文字の比率を出して分析していたり、食べ物に感情はあるのかという研究で食べ物に話しかけたり音楽を聞かせて腐り具合を調べていたり、面白いものがたくさんありました。発表内容もすごく勉強になり、話し方や発表の仕方も工夫していて、今後の校内での発表会で活かしていきたいと思いました。

## SSH活動速報

9月 4日	探究活動I	探究活動の開始(全10回)
9月 6日	アカデミックプレゼンテーションII	Debate 3
9月 6日	アカデミックプレゼンテーションI	物理に関する英語発表の実施
9月 6日	公共科学論	地理歴史、公民科教員によるユニット授業「科学と公共I」の実施(全3回)
9月 6日	公共科学演習	情報班による物流の未来に関するプレゼンテーションの実施
9月 13日	アカデミックプレゼンテーションII	Debate 4
9月 13日	公共科学演習	情報科教員による物流の未来に関するワークショップの実施
9月 30日	公共科学演習	国語班による学校教育の未来予想に関するプレゼンテーションの実施

# 学年だより 中1

## 剛健旅行

7月18日、19日に中等部1年生にとっては初めてとなる剛健旅行が行われました。途中から雨が降り大変だったようですが、ゴール後には友達と元気に話しながら豚汁とおにぎりを食べる姿が見られました。来年はより大きな目標を持ち、挑戦してほしいです。

### キズナ

A組 森田 優菜

今年の剛健旅行を通して、人と協力することの大切さを学びました。初めは雨で気分が少し下がっていたけど友達が「頑張ろうね」と言ってくれて、よし頑張ろうと思いました。歩くにつれ、だんだん雨が強くなっていき地面が水たまりになって歩くのが困難でした。途中で道を間違えてしまっ、すごく長い距離を歩きました。とても疲れたけれど、友達と歌ったり話しながら歩き続けました。疲れた時でも困った時でも周りに友達がいれば、支え合ったり協力したり、1人ではできないことができました。また来年の剛健旅行も人と助け合い、協力しながら挑戦しようと思いました。

### みんなで完歩

B組 伊藤 新菜

先輩から聞きました。「剛健旅行のゴール後の豚汁は最高!」ということ。私は豚汁を食べるために19kmを歩き始めました。住宅がないところは少し怖かったので、一緒に歩いているみんなで楽しい歌を歌いました。すると怖さが一気に消えました。友達や先生からお菓子をもらって食べると、ほんの少しだけ元気が出ました。ゴールが近づいているのがわかると、一緒に歩いているクラスメイトと最後の力を振り絞って一緒にゴールしました。達成感でいっぱいでした。保護者の方々が作ってくれた豚汁が疲れ切った身体に染みしました。来年もまた友達と一緒に完歩したいです。



# 学年だより 中2

## — English Summer Camp —

夏休み中の8月9日から8月11日まで、河口湖足和田ホテルでイングリッシュサマーキャンプに参加しました。自分の好きなものについて発表する「My Story」や班で劇を作る「Camp Skit」、マシュマロを焼いたりみんなで歌を歌う「Camp fire」など、生徒たちが楽しく英語を学べるようにAC（アメリカン カウンセラー）の方々がさまざまな活動を用意してくれました。最初は英語で話すことに躊躇っていた子たちも、だんだんと笑顔で積極的に会話を楽しむようになっていました。最終日にはACとの別れを惜しむ姿が多く見られ、充実した2泊3日を過ごせたようです。

### 会話するために

A組 尾高 太祐

「世界の果てまでイッテQ!」のテレビで出川Englishを見ながら笑っていましたが、僕も似たようなものだとつくづく思い知らされました。外国人の言葉のわかるところだけを聞いたり、ジェスチャーを見たりして何を伝えたいかを推測していました。そのせいでもうグッタリです。自分が話すことは相手からの質問への返事ぐらいです。こちらから質問なんてほとんどできませんでした。知識はあっても、それがまったく使いこなせていないことが外国人と話してみると本当によくわかりました。今まで苦手だと目を背けていたので、これからは勉強に励みます。と、まではいなくても、まずはいろいろな英語の動詞、単語などを学んでいき、聞き取りができるようになっていきたいです。また、アメリカの文化を体験して、やはり日本よりにぎやかだなと感じました。日本のお祭りもにぎやかですが、ちょっとおとなしい感じがあります。アメリカにはそれがなく、フレンドリーな人がたくさんいたのでとても新鮮でした。

### 自信

B組 丹羽 綱己

私は、今回の行事のスピーチと劇で3位を取ることができました。スピーチでは、私はバナナになりきって、バナナのことについて話しました。入賞するために意識したことは、恥を恐れないで、大きな声で自信を持ってハキハキしゃべることです。劇では、入賞ができると思わなかったもので、楽しんで演技をしました。ACの方々が、食事中やアクティビティー中などいろいろな時に私の夏休みの予定を聞いてきたり、次のアクティビティーの時間を聞いてきたりと積極的に話しかけてくれて、とても嬉しかったです。しかし私は、ACの方々の質問に対し、あまり正確に返事をすることができませんでした。なぜ、正確に返事ができなかったのかというと、単語不足が原因です。文法がわかっていても、言いたい単語を思い出すことができなかったのです。このような経験から、もっと単語を覚えたいと思いました。



ACと Camp Skit 河口湖での水遊び 石おに

## — 剛健旅行 —

7月18日から7月19日にかけて、剛健旅行が行われました。あいにくの天気でしたが、クラスメイトと楽しく話しながら歩くことができました。



スタート ゴール

# 学年だより 中3

## 中等部で最後の剛健旅行

7月18日に群馬県嬭恋村で剛健旅行が行われました。生徒たちは、中等部生としての最後の剛健旅行を雨が降る中19kmを完歩することができました。生徒たちに剛健旅行の感想を書いてもらいました。

### 剛健旅行

A組 横田 晴太郎

今年の剛健旅行では、中等部3年間の中で体験したことのない出来事が起こり、少し違った剛健旅行を楽しむことができました。その中で印象に残ったのが二つあります。

一つ目は、開会式で校長先生からの話の中で「雨は上からも下からも横からも降ってきます」という話がありました。その話は本当でした。東京では体験できないような雨が降り、坂道は川のようになっていました。雨が降ったということもあり、今年が一番疲れを感じた剛健旅行でした。

二つ目は、2人の友達と一緒に歩いたことです。3人で話をしながら歩いたことで、友情をより深めることができました。雨が降ったときは3人で傘を貸し合い、ずぶぬれになりながらも無事にゴールすることができました。

中等部生としての剛健旅行は今年で終わってしまいましたが、来年からはついに高校生の剛健旅行に挑戦になります。36kmという今にも疲れてしまいそうな距離ですが、ベストを尽くして走り切りたいと思います。

### 最後の19キロ

B組 石上 りさ

私は、中等部で最後の19kmを歩きました。今回は友達4人と歩き、最後まで完歩することができました。

剛健旅行の前までは、大変であることを覚悟して塩あめなどを多めに持ち、どこでどうするか友達と決め、動きやすい服で行きました。今回の剛健旅行は雨がとても強く降り、屋根があるところで雨具を着て歩きましたが、それでもびしょぬれになりました。歩き終わった後は、足の裏が痛く皮がむけていましたが、その傷は自分の努力だと思いました。豚汁とおにぎりを食べながら、友達と剛健旅行の話をしてとても楽しかったです。

高校生になると30km歩くので、中等部よりも11kmも多く、自分の足では歩き切れるか、友達において行けないかとても心配です。ですが、今回のようにあきらめずに歩きたいと思います。



# 学年だより 高1

## 剛健旅行

7月18日、19日に群馬県の嬭恋村で剛健旅行が挙行されました。高校生になって初めての剛健旅行でした。変わりやすい山の天候の中、激しい雨にも負けず一生懸命頑張りました。

### 1組

浦島 千尋

今回の剛健目標は、36kmの道のりをみんなで完歩することでした。一緒に歩いたのは、中等部からのメンバーで思い出や将来の話で盛り上がりました。しかし、途中、友達が先に体力がなくなってしまったので、皆で協力し、肩を貸してあげて、道を歩きまわりました。良い思い出です。次回のために、もう少し体力をつけるために日々運動しようと思心しました。けれど、来年の剛健は雨が降らなければいいなと思いました。

### 2組

川島 華真瑠

走りつつ完走する!!というのが目標でしたが、36kmは本当につらいものでした。最初は、クラスメイトと走っていましたが、はぐれてしまい、出会ったバスケット部の高校3年生の先輩方と歩かせていただきました。ある通過ポイントから、体力の限界に達し、歩けなくなりましたが、先輩方が荷物を持ってくれたり、背中を押してくれたりと、私が最後まで歩けるように助けてくれました。感謝でいっぱいです。来年の剛健旅行に向けて、自分に体力をつけ、自分も先輩のように困っている人を助けてあげたいと思いました。

### 3組

金田 龍弥

無理に早くゴールしようとして途中で力尽きないように、自分のペースで確実にゴールすることを目標にしました。同じクラスの佐瀬くんと、いつもするような遊びの話などをしながら歩きました。ネガティブな気持ちになってしまうと思い、あと何キロあるかなど距離のことは話さずでした。ほとんどペースを落とさずに頑張ることができたので、来年以降もこの調子で歩きたいと思心します。

### 4組

木ノ内 大貴

今年度の剛健旅行は初めてだったので、完歩を目指して頑張りました。道中は、バドミントン部のみんなで歌いながら歩きました。ただ、雨が降っている状況下の体温調整は苦労しました。そして、序盤の避けられない泥の水たまりは難関でした。終えてみると、あの距離を歩けたのは本当に自分だったのかと思心するほど、貴重な体験ができました。

### 5組

田中 浩貴

初めての剛健旅行だったので、0時前にゴールすることでスタートしました。半分の距離をクラスの友達と、残りを卓球部の先輩と、部活動の話や趣味の話しながら歩きました。最初にある長い坂から、雨が激しく、結構きつかったです。また、雨で足場が悪かったので苦労しました。自分にお疲れ様と思心するくらい頑張った行事でした。

### 6組

鈴木 咲優

今年初めてやるので30km完歩はしたいなと思心しました。当日は、前が見えないほど雨が強く、途中、自分は何をやっているのだろうという感情になりました。特に、ゴール直前の坂はきつかったです。おかげで、この剛健旅行を終え、自分の精神力が強くなったように感じます。

### 7組

野崎 宇斐

初めての剛健旅行だったのでタイムや走るスピードを意識するのではなく、まずは完歩することを意識しました。同じクラスの仲のいい友達7人と励まし合いながら完歩しました。全体を通して、とにかく上り坂がきつかったのと、空腹の時に、雨が降っていたため、好きな時に食事を取ることができなかったことはつらかったです。おかげで、精神的にはかなり鍛えられたと思心しました。

### 8組

桑原 千裕

36kmが現実にとどのくらいの距離なのかかわからないので、ゆっくり落ち着いたペースで歩くことを目標に、友達と思い出を作ろうと思心して剛健に挑戦しました。普段は別々のクラスにいる友達と歩きました。途中、どの場所かは覚えていませんが、2つか3つ、とても長い坂が困難に感じました。また、お腹が空いていても、雨のため、バックから食料を取り出せず我慢しなくてはならないのはつらかったです。でも、来年も剛健を楽しみたいと思心しています。

### 9組

工藤 由季也

36kmという長い距離を走ったり歩いたりすることがなかったので、自分の最大限の力を出し、完歩するんだという思いを込めてスタートを切りました。コースの最大の難所である最後の坂を上るところがとてもきつかったです。また、夜遅くに走ったり歩いたりするので、途中睡魔に襲われ、それに打ち勝つことに苦労しました。まだまだ自分に甘いと思心しました。次は、今回よりも走る時間を増やし、自分に厳しくしたいです。

### 10組

岡野 晴斗

初めての剛健旅行だったので、まずはゴールまで歩き切ることを目標にしました。スタートから、卓球部の友達5人と歩く予定でしたが、歩いているうちに10人になっていました。最初の10kmまでは、雑談をしていましたが、その後は、歌ったり、音楽を流したりして、みんなでつらさを乗り越えようと思心しました。後半、ずっと上り坂が続く所がつらく、足が悲鳴を上げていました。足に水ぶくれができ、足の疲れがピークになって、最後の6kmは“地獄”でした。今までにない経験をしました。



# 学年だより 高2

## 剛健旅行 ～さまざまな参加のかたち～

剛健旅行は多くの人協力によって成り立っています。また生徒によって取り組み方、目標、感想もさまざまです。今回はいろいろな思いで参加、協力した生徒たちの感想をご覧ください。

### ★ゴミ拾い係として

#### 1組 中根 寧生

今回の剛健旅行は特別でした。なぜならゴミ拾い係だったからです。みんなが歩く最後尾につき、トラックに乗りながらゴミを拾いました。道にはたくさんのゴミが落ちていました。僕にはゴミが悲しんでいるように見えました。ちゃんとゴミ箱に入れてあげてください。僕は来年もゴミ拾い係になって嬬恋村を美しくしたいです。

### ★完歩を目指して

#### 3組 市川 絢菜

私は昨年度の剛健旅行ではタイムリミットで完歩できませんでした。今年は友達と急いで歩いたおかげで完歩することができました。ゴールした時の達成感は言葉にできないほどうれしかったです。雨の中で初めて30km歩いてすごく大変でしたが、楽しかったです。来年も完歩できるように頑張りたいです。

### ★雨にも負けず

#### 5組 松本 然

夏休み前の恒例行事である剛健旅行が行われました。今年は、あいにくの雨天で大変歩きにくく、体力や体温が奪われてしまう環境ではありましたが、完走することができました。僕にとっては来年で最後の剛健旅行になるので、また完走できるように頑張りたいです。

### ★手伝い生徒として

#### 10組 宮林 智加

私は今回の剛健旅行には、けがのため手伝い生徒として参加しました。そういった立場でないといけない、先生方や後援会の皆さんのサポートの手厚さを感じることができました。来年は、そういった方々への感謝を胸に、完歩を目指して頑張りたいと思います。



# 学年だより 高3

## 歩きぬいた! 頑張った! 剛健旅行

夏休み目の7月18日(木)～19日(金)、3年生にとっては高校生活最後となる第51回剛健旅行が行われました。部活動の関係で参加できなかった人、体調不良やけがで欠席を余儀なくされたり、現地でお手伝いに従事してくれた人、さまざまな形で、一人ひとりがそれぞれの思いを胸に剛健旅行を迎えました。今回は各クラスの「頑張った人」からコメントをいただきました。どうぞ、ご覧ください。

### マラソンとは

#### 1組 池田 健人

マラソンとは紀元前450年の「マラトンの戦い」に由来してその名称が付けられました。1896年の第1回オリンピックで行われた長距離走が、マラソン競走の始まりといわれています。私は全体で4位でしたが、1位を狙っていたので申し訳ないです。とても良い思い出になりました。

### 思い出深い行事

#### 2組 加藤 由蘭

3年生にとって最後となった今年は、スタートから天気が悪く3年間で一番つらい剛健旅行となりました。足元は泥だらけで体力を奪われながらも、一緒に歩いた友達と励まし合い、最後まで歩き続けることができました。3年間で振り返ると、つらいことがたくさんありましたが、完歩した時の達成感と友達の大切さを改めて感じることができる行事で、忘れることのない良い思い出になりました。

### 最後の剛健旅行

#### 3組 簗原 由裕

剛健旅行に参加するのは中1の時に雨天中止だったことを除くと5回目になり、最後の剛健旅行でした。過去4年間は嬬恋の雨を一度も体験することなくゴールしていましたが、今年はスタートからゴールまで常に雨という厳しいコンディションでした。心身ともとてもつらかったですが、無事完走することができました。

### 最後の剛健旅行

#### 4組 小柳 考大

今回の剛健旅行は去年や一昨年と違い、初めて雨の中での剛健旅行でした。雨の中での剛健旅行は1年生や2年生の時とは違うつらさがあり、開始早々に靴が水たまりに入ったり、霧で前が見えなかったりと大変でしたが、ゴールした時の達成感は今まで経験したことがないくらいよかったです。

### 剛健旅行

#### 5組 小貫 満里奈

私たち3年生にとって、今回の剛健旅行が最後になりました。今思い返してみると、つらかったけど楽しくもあり、とてもいい経験になったと思います。仲間と互いに励まし合い、3年間完歩できたことは大人になって一生忘れられない思い出になったと思います。

### 来年も走りたい!

#### 6組 小泉 陸

最後の剛健が終わってしまった。陸上部の私は、入学前から剛健にわくわくしていました。高1の時は想像以上の過酷なコースに、脚が悲鳴を上げました。高2の時は猛暑の中、今年は寒い土砂降りの中を走り、弱音を吐きそうにもなりました。しかし、3年間最後まで走ったことは、私の最高の思い出です。

### 最後の剛健旅行

#### 7組 内藤 朝陽

今年の剛健旅行は初めて雨が降り、昨年より大変なものになりました。今までは晴れていたため、スムーズに歩くことができましたが、今年はカッパを着たため動きづらく、とても大変でした。でも仲間と助け合いながらゴールでき、最高の思い出の一つになりました。

### 最後の剛健旅行

#### 8組 佐波 望里

今年の剛健旅行は雨が降り、去年や一昨年の剛健旅行よりも大変でしたが、その分達成感を感じることができました。剛健旅行以外でこんなに歩くことはほとんどないと思います。友達と励まし合いながら36kmを歩くことができ、楽しい思い出にすることができたのでよかったです。

### 思い出になった剛健旅行

#### 9組 大木 彩未

剛健旅行は私にとって一番嫌いな行事ですが一番頑張った行事だと思います。雨ということもあいつも以上につらい道でしたが、無事ゴールできたのでよかったです。仲間と励まし合うことは大切なことだし、自分自身もとても助けられました。仲間の大切さを学べた剛健旅行になりました。

### 最後の剛健旅行 ～Last sturdiness trip～

#### 10組 萩原 大我

私は今回の剛健旅行でゴミ拾い係をやらせていただきました。最初はゴミも多くつらいと感じていましたが、先生方からの差し入れやチームメイトのおかげで、和気あいあいとした雰囲気の中ゴミ拾いを行うことができました。高校生活最後に最高の思い出を作ることができ嬉しく思います。

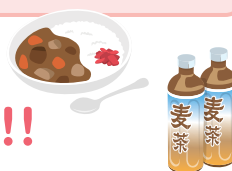


## お知らせ

### 後援会『けやき屋食堂・バザー』



ご来場を  
お待ちしております!!



10月12日(土)、13日(日)両日に開催される第55回建学祭において、本年も後援会として、けやき屋食堂、バザーを出展します。

- 場所・時間 (両日とも)**
- けやき屋食堂／食堂(地下2階) 10:00～16:00
  - バザー／物理実験室(地下2階) 10:15～16:00

## 行事予定

October 10 月

November 11 月

- 1日(火) 後期始業式 短縮授業  
校医相談日⑥ 学校保健委員会② 安全衛生委員会⑥
- 2日(水) 塾教員対象学校説明見学会(高校)
- 3日(木) 学年集会②(高1) 4時限授業(5・6時限カット)
- 4日(金) 第18回高校体育祭予備日(雨天時は授業日)
- 6日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会③(高校)
- 8日(火) **スポーツ大会(高3:さいたま総合グラウンド)**
- 9日(水) 建学祭開祭式(7時限)
- 10日(木) 建学祭準備(~11日)
- 12日(土) **第55回建学祭(~13日)**
- 15日(火) 振替休日
- 16日(水) 建学祭閉祭式 短縮4時限授業(5・6時限カット)
- 17日(木) 第18回高校体育祭予備日(雨天時は授業日)
- 18日(金) 漢検②(希望者) 教育実習(~11月13日)
- 19日(土) 水泳実習②(中等部)
- 20日(日) 東京私立中学・高等学校池袋進学相談会(池袋サンシャインシティ)
- 22日(火) **即位礼正殿の儀**
- 24日(木) 生徒会立会演説会(1時限 中等部:アリーナ、高校:放送)
- 26日(土) 特別時程 SSH成果報告会
- 27日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会④(中等部)
- 29日(火) **スポーツ大会(高3:さいたま総合グラウンド 予備日)**

- 1日(金) **建学77周年記念日 GTEC Junior 受験日(中1)**
- 2日(土) 朝礼 短縮授業
- 3日(日) **文化の日** 受験生・保護者対象学校説明見学会④(高校)
- 4日(月) **振替休日**
- 5日(火) 校医相談日⑦
- 6日(水) 木曜日の授業
- 7日(木) **学園高大連携総合試験(高3)** 基礎力判定試験(高1・2) 外部実力試験(中等部)
- 8日(金) **付属推薦小論文試験(高3)** 4時限授業(5・6時限カット)
- 9日(土) 創立75周年記念式典
- 14日(木) 一斉公開授業②(~15日)
- 合唱祭[1・2時限](中等部)**
- 16日(土) 保護者会(中等部3年)
- 21日(木) 生徒による授業評価アンケート③
- 23日(土) 勤労感謝の日
- 25日(月) 火曜日の授業
- 26日(火) **後期中間試験(高1・2:~29日、中等部:~27日)**  
**卒業試験(高3:~29日)**
- 28日(木) **AM:スポーツ大会・PM:キャリア教育(中等部)**
- 29日(金) **校外活動(中等部)**
- 30日(土) 3時限授業 東海カルチャーセミナー 後援会委員総会③  
生徒自宅学習日(高3)

## 編集後記

秋分の日が過ぎ、すっかり秋の気配が感じられるようになってきた。「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、先人の知恵に感心させられる。秋といえば皆さんは何を連想されるでしょうか。スポーツ、読書、芸術、何をやるにしても良い季節です。また、秋には栗、葡萄、薩摩芋など旬を迎える食材が多く、中でも秋の魚といえばサンマ、どれも食欲をそそるものばかり。美味しいものをたくさん食べ、身体を動かして健康的に過ごしたいものである。とはいえ「天高く馬肥ゆる秋」という諺があるが、食べ過ぎには要注意ですね。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>